
裏オークション

#000000

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

裏オークション

【Nコード】

N3140I

【作者名】

#000000

【あらすじ】

これは、どこにでもある普通のオークションの裏のお話。

さあ、あなたは誰に、どんな理由で、いくら賭ける？

どんな依頼でも大丈夫です。

個人情報を守ります。

だからご安心を、ただし仕事人の情報は他言しないで下さい。

まだ、死にたくなければね。

ちなみに、この主人公の野望はハーレム王国の建国です。

全ての女は俺の物へただし、busu,,,tyunenn,,,

kouraisyā以外。↳

「おれは、ハーレム王に必ずなる。」だそうです。女性の皆さん、
注意を、

作者はこの小説がデビュー作です。

この作品を、4649。

1話(前書き)

とくになし。。。

4649

1話

俺は今、黒いノートパソコンの画面を見ている。

画面の中で対象の商品が色々な値段をかけられている、オークションだ。

様々な物を見たが、たいしたものがないので、特別会員専用入口をクリックする。

これはある特別な事を依頼される仕事人専用だ。

パスワード、ハンドルネームを打ち込み、カテゴリから仕事内容である殺人屋をクリックする。ちなみにパスワードは、1171582だ（笑）。

ピッ、黒い炭酸飲料さんが入室しました。

わかると思うが、最近変なCMをやってる某炭酸飲料だ。

まあ、この他にも、拉致屋、詐欺屋、強盗屋、囮屋、情報屋、運び屋、売人屋がある。

今から、〜屋を、説明していききたいと思う。

一番儲かるのは情報屋だ。

偏見かもしれないが、こうゆう人たちって部屋に籠ってパソコンカタカタしてるイメージしかない。（笑）

拉致屋は、名前でわかりますね（爆）。

というか、全部名前でわかりマスね（笑）。

さらに情報屋と囷屋は、あまり人気がない。

そりゃあああ、間違った情報を流したら消されるし、関わらない方が
良い秘密を知ったらたら死ぬ『あえて、それ限定の情報屋もいる
が』。

まあ、当たり前だが仲間、もしくは情報を買った仕事人を他人に教
えれば、その人本人に消される。

囷屋は、文字道理仲間に金で雇われ囷役をする。

当全囷だから、逃げ足と頭に自信が有る奴しかやらない。

足と頭の回転が遅かったら、ト〇とジ〇リ〇の穴空きチーズにされ
るか、コンクリートと一緒に海に永住するか、山中に埋められて森
の守護神になるしか無い（怖）。

でも、報酬が二分の一だから、大体は腕に自信がある奴と組んでい
る。

「うんうん、難しい仕事だな。」

俺は、自慢のサバイバルナイフを丁寧に磨きながら呟いた。

このオークションは、拉致屋、運び屋、囷屋、詐欺屋、強盗屋、殺

人屋、情報屋のカテゴリからやりたい仕事をひとつ選び、選んだらそのオークションに出場する。

後は基本的にふつうのオークションと変わらない。

依頼者が、見事お目当ての仕事人を雇えたら、仲介人に仕事内容を伝える。

そのあと、仲介人が仕事人に伝える。

金はこのサイトの総合口座に振り込まれ、後でこの総合口座の管理者が仕事人の口座に振り込む。

仕事人は、競り落とされたら依頼人に契約金を払う。

契約金は、報酬金額の十分の一だ。

これは、依頼が失敗したときの為だ。

ただし、これが支払われることはめったに無い。

大体は、失敗したので狩りと称され同じ仕事人に狩られるとか、警察に捕まったとか、ターゲットに消されるとか、そうゆう事が有るからだ。

当然パスワードが、わからないから、銀行のお金がおとせないのだ。依頼である仕事を終えたら、写真か動画を撮り、仲介人にMAILで送信する。

仲介人がそれを確認したら、その後総合口座に金を振込ませ、裏オ
ークション完了。

あとは、管理者が仕事人の口座に振り込む。

今俺は、報酬金額4000万のおっさんに競り落とされた。オツサ
ン太っ腹~~~~(笑)。

「どれどれ内容は、お、これは！」

報酬金額4000万

ターゲット：男子高校生8人

理由：恨み

「だいたいこうゆうのは、強姦された娘の親が依頼するんだが、ま、
大方そうだろ。」

依頼内容を確認し、依頼主に連絡する。

番号は、仲介人から送られる。

ぷルルルルルる、、、ぴっ

「はい、もしもしどなたですか？」

電話にでたのは、頭を焼け野原にし、加齢臭を漂わせる男性だった。

「お前に競り落とされた者だ。聞くが、どうやって死んだか言え。」

まあ、どんな依頼でも十分の一なので文句は言えないが、

「ま、いいかえーと400万を振込んでっつと、」

情報揃うのに、3分かかります。

よろしいですか？

「よろしい」

俺は言葉と同時にenterキーを押した。

三分ピツたしに情報が出る。

「仕事早ね、」

「なになに、巷で有名なあくどい有力政治家の双子のドラ息子に、特別進学校の同級生6人か、なんかお約束の展開だなあ。」

「ケ、過去にも似た様な事してんのか、女はストレス解消の道具じゃないんだぜ。」

その他にも、過去の犯行場所、全員の住所、電話番号、学校、通学路、通学時間、塾、親の通勤場所、いろんな事がわかった。

「警察が調べないのは、握り潰してるからか？」

「親が親なら子も子だ。」

例

マントビビの子は、マントビビ。

ナマコの子は、ナマコ。

馬の子は、馬。

はまぐりの子は、はまぐり。

豚の子は、豚。

フラミンゴの子は、フラミンゴ。

ウシガエルの子は、ウシガエル。

ギョウ虫の子は、ギョウ虫。

最後汚いな

「ふうー、情報は揃ったから、とつとと殺りにいきますか。」

俺はパソコンを、スリープモードにし、自分の愛用するナイフを体の各自にセットし、ケータイをズボンのポケットに入れ、玄関から外に出た。

「あ、鍵閉めんの忘れてた。」

締まらないな、、、

「ギヤアアアアアアた、助けてくれエ」

「今までさんざん悪い事してたのに、なんで命乞いしてるの？」

「やめろ！やめてくれ、頼む、もうしないから、見逃し」「フッフ、
やーだ。」

シュツ、スパアアアアア

コンクリートの壁一面に鮮やかな紅い血液が吹き付けられている。

「出来るだけ残酷にしたけど、これで良いかな？」

最後の一人を殺して呟いてみた。

この死体たちの共通点は、男性器が切り取られ喉の奥に詰め込まれていることと、腹が縦に切られ内蔵が全部路上にぶちまけられていること、玉が両方とも踏みつぶされていることだ。

あとは、脳みそぶちまけているとか、目が飛び出るとか、下あごが無いとか、イロイロだ。

まあ、注文通りに出来たってことだ。

時間は、午前3時前くらいだ。

殺すのは、3分と掛からなかったが、デコレーションしたら、1時間くらいかけちゃった。

なんで、こんな時間かというと、さすがに昼間っからという訳にはいかず、あいつらが集団で帰ってくるのを2日間も待っていた為である。

「自分の行いを後悔するんだな。ま、聞いちゃいねえか」

死体達にそう言って、警察が来るまえにコソコソと、ゴキブリみたいに帰宅した。

翌日、怪奇事件としてNEWSにでた。

依頼者のおっさんには、めちやくちゃ感謝された。

うんうん、良い事した後は気持ちいな。

遺族の連中が、「優しく、礼儀正しかったのになぜ」とコメントしてたので、嫌がらせに奴らの汚職を全新聞会社に匿名で送りつけてやった。

「ま、当然の結果だよな悪事をさんざんしたんだし、」
あいつらの各会社は倒産した。

ま、そんなにムカついてないから路頭に迷う程度で良いか。

俺って、S？

「情報提供に400万、BOSSに400万か、」
ちなみに、この組織はBOSSに報酬にの十分の一を払うことになっている。

「ひどいよー」

ちなみにこのお金の使用用途は、ハーレム王国を建国する為に使うのだ。

だから、金があるんだよー

俺の叫びは、朝日の輝く空に消えて行った。

俺は今、猛おおおー列に泣いてる。

ソコラ辺に大粒の水滴まき散らしてる。

ナンデか分かるか???

画面ごしのこの文章じゃわからないか、この悲しみは、とほほ。

ちよつと時間を戻そう。

あ、ちなみに俺にタイムスリップとかできないからね、あくまで俺の頭の中でのお話だよ。

俺は、あるお店に入ったらいきなり飛びついてきたオカマのおっさんに濃厚なDeep Kissを3分間もかまされたからだ。

おええええええええええー

吐いてる、マジで吐いてる。

「ごめんねー久しぶりだからつい／＼」

「ふざけんなチンカスヤロウ、切り刻むぞー」

「キヤーーーーー怖い、襲われるーーーーー」

何でこんなオカマのおっさんがいる店に来ているかと言うと、女を
買う為だ。

知ってると思うが依頼で3200万を手に入れた、俺はこれでハ
レム王国の一人目を買付けようとこのオカマが店長やっている奴
隷屋に来ている。

このお店は題名のまんま、本トーーーーそのまんまの奴隷屋。

普通は、普通はだよ、こんな明らかに犯罪の匂いがぶんぶんする名
前のお店警察が黙っている分けなと思うだろ、だーーーーけー
ど、黙ってるナンデだと思っ???

1、警察自体が買収されてるから。

- 2、国のお偉いさん御用たしのお店だから。
 - 3、表の世界にとても影響有る人が経営してるから。
 - 4、ただ単に検挙するのがめんどくさいから。
 - 5、そのお店は世界中にコネが有るから。
 - 6、世界中の危ない組織の人たちが関わってるから。
せーいーいーいーかーいーいーいーは、全部でした、何か在り来たりな理由だね。
 - 1問正解の人、がんばれ。
 - 2問正解の人、ドンマイ。
 - 3問正解の人、きつと良い事あるぞ。
 - 4問正解の人、良い方だと思っよ、俺は。
 - 5問正解の人、おいしいいーいーアト一問、本当いーいーに、おこ。
全問正解の人、ハイ良く出来ました、これからも良い事有ると良いですね。
- はっ、なにやってツンだゝナニはしてないよわかってると思っけどい俺、いつのまにクウイズに???

おかしい、明らかに俺の頭がおかしい。

え、脱線してないで話進めろだと、誰に口きいてんだコラ、あ、こメンなさい睨まないで、謝るから。

「しいやせん」

あ、声にだしっっちゃった。

あああ、オカマ店長が俺の事生ぬるい目で見ている。

違う、本当に違うからそんな目で見ないでー！。

「頭だいじょうぶ???」

「人の頭の事心配するより、自分の顔シンパイしろよおっ3。」

「クス、照れちゃって」

「もおいしい、死ねば良いのに。」

えーとなんだっけ、お店のお話だよね、何で警察が手出さないのかまで話したよね。

画面ごしの皆、話に付いこれてるか???

いい???

話進めるよ、返事はあえて聞かないけど。

“おは、おは”

二話も4649。

1話（後書き）

批判、感想4649

中傷は、勘弁して下さい。

誤字脱字の指摘もおねがいます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3140i/>

裏オークション

2010年10月14日12時34分発行